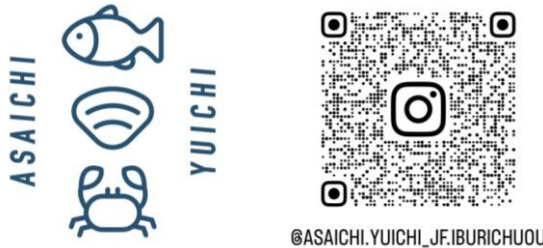


地域マリンビジョン目標の達成に向けた取り組み（登別・白老（虎杖浜）地域）

●漁港及び漁港以外での朝市・夕市の実施（継続）

（1）水産業を核とした地域活性化の取り組み（地域の目指すべき姿）（Plan）			関連資料
地域 MV における取組の位置付け	【目指す姿との対応】 直販等による域内消費・水産応援団の拡大 ・地産地消推進による地場の水産応援団の拡大、観光との相乗効果の発現 【主な取り組み】 ・朝市夕市の開催	取組場所	【取組の様子】  Instagramアカウント  @ASAICHI.YUICHI_JF.IBURICHUOU 朝市・夕市の旗  来場者カード・エコバック 
			
現状における取組実施の背景	地場水産物の PR や地産地消の拡大、また、都市と漁村との交流促進を目的に、5月～11月の期間で登別漁港、白老港において、朝市・夕市を年6～8回程度開催。新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は白老町のポロトミンタラで朝市、登別漁港でドライブスルー方式（事前申込）で朝市を2回、令和4年度は登別中央ショッピングセンターアーニスで朝市を、登別漁港でドライブスルー方式（先着順）で行いました。令和5年度については、新型コロナウイルス感染症の「5類」移行に伴い、これまで通り開催していた朝市・夕市を登別漁港、白老港、登別市観光交流センターヌブルで5回開催した。令和6年度については、通常（対面）開催し、水産物消費拡大推進事業実行委員会のInstagramアカウント作成・情報発信や9月に開催された朝市では、拡充イベントを実施する等6回開催した。 令和7年度は朝市・夕市も令和6年度と引き続きの開催方法（拡充イベント1回実施）で実施し、5回の開催した。		
取組により期待する効果	・地産地消の拡大と魚食の推進		
（2）取組内容・実施体制（Do）			
取組内容、方法、手順、実施体制	令和7年度は、朝市・夕市を登別漁港、白老港で5回通常（対面）開催することができ、地元水産物のPRを行った。 各市町のホームページや開催地域の新聞折込で周知した。 また、昨年から地元水産物の販売を周知するため、水産物消費拡大推進事業実行委員会ではInstagramでの情報発信（開催日案内・開催内容の動画）を行った。また、9月に開催された朝市では、拡充イベントを実施。（女性部によるオオズワイガニ汁の販売、オオズワイガニの詰め放題、鮮魚の詰め合わせBOXなど販売） 新たな取り組みとして、これまでは列の制限をしないまま実施し、お客さん同士で魚の取り合いや販売側とお客さんとのトラブルがあったことから、列を設け5名ずつに入場制限したことで、販売側の対応やお客さんが好きな魚を選べるなどのメリットが生まれた。そのほか、朝市・夕市の旗をリニューアルしたり、Instagramでは関係者のコメントや女性部による料理紹介をした。さらに来場された方に来場者カードを配布し、3枚集めるとオリジナルエコバックをプレゼントする企画も実施した。		
（3）効果項目に対する評価（Check）			
効果目標の達成度評価	各市町ホームページや開催地域の新聞折込での周知のほか、新たにInstagramで情報発信を行ったり、拡充イベントの開催によって、多くの地元の方が訪れたことで更なる賑わいある事業となった。 また、Instagramを見て来場してくれた方も少しずつではあるが、来てくれるようになってる。 そのほか、来場者カードを配布したことで、正確な来場者数を把握することが出来るようになった。		
反省点	なし		
（4）取組の改善措置（Action）			
取組内容の改善点	・時期に獲れる魚介の販売が難しくなっている。（不漁、魚価高騰など）		
取組の実施に必要なもの			

●漁港清掃・お魚を殖やす植樹運動（継続）

（1）水産業を核とした地域活性化の取り組み（地域の目指すべき姿）（Plan）			関連資料
地域 MV における取組の位置付け	【目指す姿との対応】 ③「まちづくり」の一環としての漁港づくり ・プレジャーボートとの共存 【主な取り組み】 ・「漁港清掃」 ・「お魚を殖やす植樹運動」	取組場所	【取組の様子】 漁港清掃   お魚を殖やす植樹運動 
			
現状における取組実施の背景	「まちづくり」や漁業環境の保全、また、漁港漁場における漁業者と遊漁者との共存を目的に、漁港清掃をはじめ、お魚を殖やす植樹運動、漁港花壇清掃を地域ぐるみで実施し、このような取り組みを協働で実施することにより、漁業者と遊漁者の信頼関係の構築が図られている。		
取組により期待する効果	「まちづくり」の一環としての漁港づくり		
（2）取組内容・実施体制（Do）			
取組内容、方法、手順、実施体制	漁港漁場における漁業者と遊漁者との共存を目的に、漁港清掃をはじめ、お魚を殖やす植樹運動、漁港花壇清掃を地域ぐるみで実施している。 令和7年度は、「漁港清掃」には111名、「お魚を殖やす植樹運動」には36名の漁業者と遊漁者が参加した。 漁港清掃については、北海道漁港漁場協会主催の「令和7年度漁港愛護優良団体」に選ばれ、ポスターに写真が活用されました。		
（3）効果項目に対する評価（Check）			
効果目標の達成度評価	漁業者と遊漁者が、共通認識のルールを遵守することで、みんなの海・さかな・漁港の環境改善が実現し、水産業とレジャーの共存が図られることから、引き続き行っていきたい。		
反省点	なし		
（4）取組の改善措置（Action）			
取組内容の改善点	・「お魚を殖やす植樹運動」の植樹候補地が中々、見つからなくなっている。		
取組の実施に必要なもの			